



学チャレ 中間レポート！

代表者から活動・準備状況や活動カレンダー、今後の意気込みをお伝えします。



代表者: 西山 佳希

企画名称: 官学連携による地域犯罪改善のための
環境犯罪学的提言

団体名称: 守山ゼミ・渡邊ゼミ連合

現在の活動状況・準備状況

7月下旬より、板橋区のひったくり実態を観察するため、板橋区役所の青パトに月曜から金曜まで毎回6名が乗車し、街の安全状況を視察した。その後、8月中に浅草警察署、高島平警察署の協力のもと、ひったくり多発地帯(浅草地区、徳丸地区)を各警察署管内で1ヶ所ずつ選定し、各班15人程度を動員して、午後から夜間にかけてひったくり調査を行った。調査項目は、道路幅、道路形状、夜間照度、通行量(人、自転車)、街の形状などである。

今後の活動カレンダー

今後の主要なイベントは、これまで調査したひったくりの実態について都内各区市町村の担当者に対する報告会を実施することである。

10月6日	補充調査(ひったくりが発生していない場所の調査)
10月10日	大学内で都庁調査報告会のリハーサル
10月18日 午後3時30分	調査報告会(都庁: 守山ゼミ担当)
10月19日 午後3時30分	調査報告会(立川市: 渡邊ゼミ担当)
11月	調査報告書の冊子発行(都庁担当)

今後の意気込み

都内のひったくりは統計的には減少傾向にあるが、青パト乗車により地域住民の不安感決して低くないことを実感した。そこで、都庁における各自治体の犯罪対策担当者には、ひったくりが減少すれば、犯罪不安感がなくなるだけでなく、地域全体の連帯感が高まり、安全なまちづくりになることを強調し、是非、われわれの調査結果を地域の政策に反映させてもらいたいと思う。また、そのようになるように努力したい。